

## 評価者養成講習応募要件の具体的例示

※ 下記の要件の例示に受講生の経歴が合致するかどうか確認してください。

### 要件1 福祉・医療・保健業務を3年以上経験している者

例示番号	内 容
1	要領で定める福祉サービス現場（※1）で資格【注1】を有しその業務に専従している常勤職員及び当該福祉サービス現場において、資格を有しその業務に従事している非常勤職員（直接サービス現場同一事業所内での管理業務を除く）非常勤の場合は通算して常勤3年間（実日数540日以上）【注2】に匹敵する程度の業務経験がある者
2	要領で定める福祉サービス現場（※1）の管理・監督職（施設長、事務長等）に従事している常勤職員
3	下記【注3】に定める資格を有し、医療・保健業務現場（保健所、病院等）に従事する常勤職員（医療・保健現場同一事業所内での管理部門業務を除く）
4	福祉関係法令に定める相談業務に従事している常勤職員

【注1】ここでいう資格とは、別紙1-①のとおり

【注2】ここでいう「通算して常勤3年間（実日数540日以上）」とは、3年間の中で勤務実日数が540日以上あることを意味する。

【注3】ここでいう資格とは、医師・保健師・看護師・准看護師・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員

※1 要領で定める福祉サービス現場については、別添「社会福祉法（抄）」及び「介護保険法に規定される福祉サービス」を参照して下さい

### 要件2 組織運営管理等業務を3年以上経験している者

例示番号	内 容
1	常勤職員が20人以上の法人組織において、法人の運営方針の決定に関与する役員（登記上の役員で常勤の者）として従事している者（法人規模が分かるもの及び登記簿謄本（写）等を合わせて添付すること）

×・・・社員19名の会社の社長（アルバイトなどにより、20名になることもある）は不可